

# ～のっこみグロ攻略・後半戦を考える～



『ヨドミ』のポイント例(大隅半島  
南東岸間泊『コシキ瀬のハナレ』)

## 『ヨドミ』の代表的な潮(例)



※一見、潮は止まっているように見えるものの、底潮は潮どうしがぶつかり合って複雑な流れになっていることが多い。



間泊の磯ではこの時期のエサ盗りはこの  
チョウチョウウオが多い



沖アミの皮だけが返ってくる時はクロの  
仕業であることが多い



喰いが強い時は口の皮一枚での掛かりが  
多いのでやり取りは慎重に！

また、竿は柔らかくてクロ口をあまり怒らせない調子、号数だと1.5号以下が理想です。  
ウキは0号を基準として0αや00号。それとB・2Bまでは準備しておくといいでしよう。私の場合、朝一は0号でタナ3ヒロ位からスタートします。それでエサが盗られない時は4ヒロ、5ヒロと深くして行きますが、これ以上になる場合

※一見、潮は止まっているように見えるものの、底潮は潮どうしがぶつかり合って複雑な流れになっていることが多い。

今この時期は1〜2号。オーバーの丸々としたクロがターゲットになり、磯際、沈み瀬回り、ゴロタ場等の浅瀬などを釣ることが多くなるので、むやみに道糸やハリスを細くしないようにした方がいいでしょう。しかしラインが太いと極端に喰いが悪くなるので、2号以下の号数で勝負した方がいいと思います。

万が一、ドン深(深さが20m以上)の瀬に降ろされた時は、思い切って深く釣るか磯際を丹念に釣るようになります。以前、このような磯に今ぐらいの時期に降りた時、00

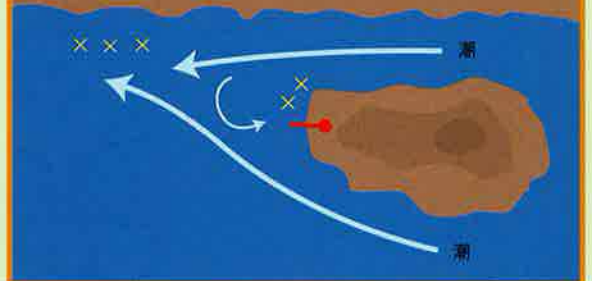
号のウキにジリタン5号を2個打ち、遠投して一気に攻め、底近くでゆっくり引き上げてまた落してを繰り返して納竿前にデカグロを釣り上げることがあります。

号のウキにジリタン5号を2個打ち、遠投して一気に攻め、底近くでゆっくり引き上げてまた落してを繰り返して納竿前にデカグロを釣り上げることがあります。

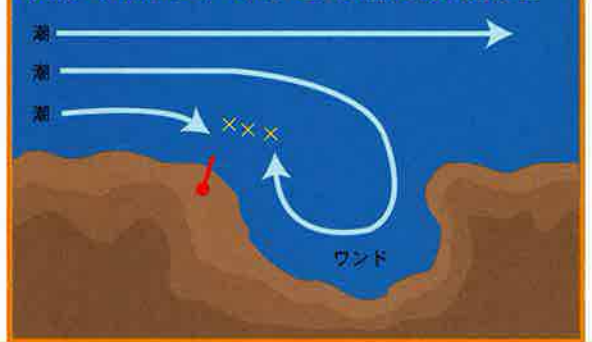
オキアミはあまり潰さずに原型を残し、アミは逆によく潰して粘りと匂いを出すように心掛けて混ぜるようになっています。

今この時期は1〜2号。オーバーの丸々としたクロがターゲットになり、磯際、沈み瀬回り、ゴロタ場等の浅瀬などを釣ることが多くなるので、むやみに道糸やハリスを細くしないようにした方がいいでしょう。しかしラインが太いと極端に喰いが悪くなるので、2号以下の号数で勝負した方がいいと思います。

## ポイント例『水道の出口』



## ポイント例『ワンドからの潮の合流点』



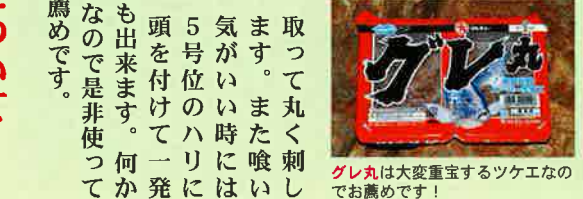
要は、じっくり粘って釣るのが今の時期の釣りであると考えます。  
〜マキエとツケエ〜  
今の時期は水温がかなり低く、エサ盗りがそこまでするさくなくと思います。またこの時期のクロは産卵を控えて神経質になっているので、まずクロに喰い気を促すのと、遠くのクロをマキエでおびき寄せることが大事だと考えます。私は1日分(約8時間)のマキエとして、オキアミ生3を2角半、アミ1/8を2角に配合エサを3袋準備します。配合エサはマルキューのグレパワーV9とイワシパウダースP、そしてアミパウダースPです。どれも軽比重で集魚力が強く喰い気を持続させることが出来ます。それぞれの特徴としては、グレパワーV9はまとまりと拡散、そして遠投力に優れています。イワシパウダースPはその名の通りイワシの魚粉が大量に入っておりクロに刺激を与えて喰いの強い今の時期に効果的。アミパウダースPは軽い比重のパン



この時期お薦めのマルキューのクロ用配合エサ。私はこの組み合わせで使い分けています。



強力集魚のイワシパウダースP オキアミは原形を残す感じで混ぜる



グレ丸は大変重宝するツケエなのでお薦めです！

## 仕掛けについて

取って丸く刺します。また喰い気がいい時には5号位のハリに頭を付けて一発で喰わせることも出来ます。何かと重宝するエサなので是非使ってみて下さい。お薦めです。